

## 編集後記

決まり文句のような書き出しになってしまいますが、災害が続いています。本年3月の福島県沖地震、8月3日からの豪雨、記録的な威力で上陸した台風第14号。そしてこの文章を書いている今、台風第15号が大雨をもたらしつつあります。また、パキスタンでは国土の1/3が被災地となる大洪水が生じています。現在は減少傾向にありますが新型コロナウイルス感染症の拡大は再び医療崩壊を生じせしめました。ひとが活着しているのに、生活と生業があつたのに。何を書き、何を言えばよいのかわかりません。

本号では特集「復興と倫理」として4名の執筆者にご寄稿いただきました。企画がめざすところは企画者の「応答」と題した文章に記したので再説は控えますが、根本的には「復興」を考えるための文体あるいは「語り方」を探るころみであつたようにおもいます。被災地にはことばが溢れます。そして被災地ではことばが根こぎにされ、封じられます。じんわりとことばが戻ってくるための語り方や書き方や聞き方があるはずで、4名の書き手はそれを常に既に実践されているはずで、そこから学びたいとおもつたのです。それにしても、書くことにはそれなりに慣れてるつもりでしたが、「書いてもらう」のは人生で初めての体験でした。そわそわしました。

さいごに、本年6月をもって近藤誠司先生が学会誌編集委員を退任されました。『復興』前号の特集企画を編集担当され、また『論文集』に関わる諸課題に解決の道筋をつけられました。これまでありがとうございました。

第28号特集編集担当：高原耕平・石原凌河

## 学会誌編集委員会委員名簿

委員長	飯考行	専修大学
副委員長	近藤誠司	関西大学 (2022年6月退任)
副委員長	田中正人	追手門学院大学
幹事	石原凌河	龍谷大学
委員	荒木裕子	京都府立大学
	小川知弘	関西学院大学
	高原耕平	人と防災未来センター
	田並尚恵	川崎医療福祉大学
	大門大朗	京都大学
	山崎栄一	関西大学

日本災害復興学会誌 復興 通巻 第28号 (Vol.11 No.1)

2022年9月11日 発行

発行者 日本災害復興学会

事務局 〒662—8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学災害復興制度研究所 内

日本災害復興学会事務局 TEL. 0798-54-6996